

<個別案件確認表（東京都）>

東京都担当確認年月日 2019年7月22日

東京都作業部会確認年月日 2019年7月23日

事業名 選手村建物維持管理

案件名 選手村運営施設の建物管理業務委託契約

確認の視点		東京都の見解	備考
経費の負担が平成29年5月31日の合意の考え方に基づくものであること		<ul style="list-style-type: none"> ● 本件はオペレーションに係る事業であり、経費分担は平成29年5月31日の大枠の合意に基づくことが確認できた。 ● 東京都は、大会経費の都の枠内である場合、合意に基づきパラ経費（組織委員会2：国1：都1）を負担する。 	
事業の執行に当たり、大会運営を担う組織委員会が一括して執行した方が効率的、効果的であること		<ul style="list-style-type: none"> ● 平成29年5月31日の大枠の合意において、オペレーションは組織委員会が必要な経費を負担し、業務全般の役割を担うことになっている。 ● 本件は選手村の運営施設の建物維持管理に関する事業であり、選手村の運営を担う組織委員会が本件を一括して執行した方が効率的、効果的である。 	
経費の内容等が必要性（必要な内容、機能かなど）、効率性（適正な規模、単価かなど）、納得性（類似のものと比較して相応かなど）等の観点から妥当なものであること	必要性	<ul style="list-style-type: none"> ● 複数当該事業は、選手村運営施設の利用者に対して、安全かつ快適な環境を確保するため、法律及び維持保全上必要な建物維持管理業務を行うものである。 ● 選手村運営施設における不具合の発生や火災等の発生時に、迅速かつ適切な対応を行うために必要な事業である。 	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> ● 大会期間前後の常駐時間を精査することで、業務量の効率化を図っている。 ● 維持管理業務と防火管理業務とを連携させ、日常巡回点検業務や不具合発生時の応急対応を防火管理業務の人員を活用するなど、人員圧縮・費用削減の効率化を図っている。 	
	納得性	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般競争入札により事業者を決定するため、市場性を踏まえた価格水準での業務委託が見込まれる。 ● 都単価や刊行物積算資料を基に精査された単価と見積額との比較に基づき、適切な予定価格が設定されていることを確認した。 	
その他経費の内容等が公費負担の対象として適切なものであること		<ul style="list-style-type: none"> ● 本件にかかる費用は、選手村運営に必要な大会経費として、公費負担の対象として適切であることを確認した。 ● 現時点では大会経費の都の枠内であることを確認できないため組織委員会負担とする。 	

*公費負担の対象となるパラリンピック経費に該当するか否かについては、「パラリンピック経費の基本的な考え方について」に基づき、パラリンピック作業部会において確認するものとする。